

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

西部総合事務所県民局(電話：0859-31-9709)

1 目 観光費<地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫補助金	起債	その他	一般財源	
(新)湯ったりだいせん 発信事業	225	0	225				225	
トータルコスト	1,032千円(前年度0千円)[正職員:0.1人]							
主な業務内容	大山寺地区の足湯整備にかかる補助業務							
工程表の政策目標(指標)	大山寺で掘削した温泉を活用した地域振興							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

大山の新しい観光資源となる“温泉”の魅力をわかり易く発信するため手段として、大山町と協力して足湯を整備する。

*経緯 平成18年、大山寺参道の廃業旅館を地元企業が買収。温泉を活用し、健康をテーマとして大山地域を活性化する構想を発表。平成21年4月、温泉の開削に成功したものの。

2 主な事業内容

(1) 足湯整備事業の実施主体(大山町)への助成

事業費総額 15,000千円(町の起債事業)

県補助金額 225千円(県の10年間の補助金総額2,250千円)

*実質町負担額の1/2を県が補助

$\{15,000 \text{千円(事業費総額)} - 10,500 \text{千円(交付税措置)}\} \times 1/2 = 2,250 \text{千円}$

年度	県補助金	備考
平成22年度	225千円	初年度
平成23～31年度	2,025千円	225千円×9年間(債務負担)
計	2,250千円	

(2) 足湯整備箇所

大山寺参道沿い(旧派出所跡地を予定)

(3) 維持管理

足湯整備後の日常の維持管理や観光客へのサービスは、地元住民(大山自治会)が行う。

3 これまでの取組状況

民間企業を中心として地域を再生・活性化しようとする地元の想いや努力に対し、大山周辺の広域の地域活性化の観点で県を含む産学官の連携により取り組みが拡大しつつある。

- ・21年8～10月 大山地域活性化講座(鳥取大学地域貢献講座の位置づけ)

参加者約100名

- ・21年10～11月 大山紅葉祭りに合わせ、地元有志が仮設足湯イベント

- ・22年1月 大山地域の活性化を考えるシンポジウム(内閣府関係事業/参加者150名)